

丸紅基金の社会福祉事業 豊間根保育園に助成金寄贈

社会福祉法人三心会（清水誠勝^{せいしやう}理事長）が運営する豊間根保育園に、社会福祉法人丸紅基金（朝田照男^{てるお}理事長）から助成金が寄贈されました。この基金は、全国の社会福祉事業に対し200万円を上限に総額1億円を毎年助成しているもので、本年度は736件の応募の中から69件が採択。同園には、老朽化した施設の補修工事に対して助成金80万円が決定されました。贈呈式は11月5日に同園で行われ、丸紅東北支社の後藤正典^{まさのり}支社長から清水理事長に目録が手渡されました。清水理事長は「この助成金で施設をきれいに直し、子どもたちが健やかに育っていける保育園となれるように頑張りたい」と話しました。



瀬川夫妻が丹精込めた新米 新嘗祭への供進のため献上

10月28日、皇居^{にいなるさい}の新嘗祭に献上する献穀の献納式が行われ、県を代表して荒川の瀬川智宏^{ともひろ}さん(60)と敏子^{としこ}さん(59)夫妻が精米1升を献上しました。皇居で行われた献納式には天皇皇后両陛下がお出ましになり、陛下から献穀のお礼ならびに作物の作柄状況についてのお言葉を賜りました。献上した米は、11月23日に皇居で行われた新嘗祭に供進されました。瀬川さんは「天皇陛下ご即位20周年というおめでたい年に献上できたのは、農家にとってこれ以上ない栄誉です。ひとえに献穀作りにご協力いただいた皆さんのおかげです」と話していました。

東北電力などから球根寄贈 山田南小児童らと植え付け

東北電力宮古営業所（三国俊晴^{としはる}所長）は、関連企業3社とともに町にチューリップの球根1,000個を寄贈しました。平成12年5月に本町とオランダのザイスト市が友好都市を締結した記念に毎年行われているもので、本年度10回目となります。贈呈式は11月10日に行われ、三国所長と関連企業の代表4人、飯岡地区住民自治会（中村郁子^こ副会長）の役員3人が出席。三国所長が「今後もこの事業を続けて、本町とより良い関係を築いていきたい」とあいさつし、沼崎喜一町長に球根を手渡しました。贈呈式に先立ち11月2日には球根の植え付けが行われ、山田南小4年の児童と飯岡地区住民自治会、東北電力の社員ら79人が参加。長崎地区の町道沿いにある花壇に参加者の手で一つ一つ丁寧に植えられました。



山田南小児童らにより長崎地区の花壇に球根が植えられました（上写真）／11月10日に行われた贈呈式の様子

